令和2年度（第59回）農林水産祭むらづくり部門受賞団体の概要

【農林水産大臣賞受賞団体（代表者）】

● よしのぶ 吉延営農組合 こうちけんながおかぐんもとやまちょうよしのぶ 〔高知県長岡郡本山町吉延〕 たかい（組合長 高井 とよとし 豊歳）

（1）むらづくりの背景・動機

吉延集落では、高齢化や担い手の減少を受け、平成12年度から中山間地域等直接支払制度に取り組んでいる。制度の参加をきっかけに地域の農地を地域で守っていくという意識が醸成され、共同で農道の舗装や機械の購入、利用をすすめ農村環境の保全や持続可能な営農体制の確立をはかってきた。そうした共同化の流れや高知県農業振興センターからのサポートも受け、農家への意向調査や先進地視察研修を経て、平成19年1月に吉延営農組合を設立した。

（2）むらづくりの内容

①生産面における取組状況

組織の設立以降、共同機械の整備や集落内へのライスセンターの整備など稲作の共同化を図るとともに、農作業受託により高齢農家も中山間地域等直接支払制度に参加しやすい体制作りなど持続可能な営農及び棚田の原風景などの農村環境の保全に取り組んでいる。

本山町では農家の所得や意欲向上を目的に、ブランド米「土佐天空の郷」の生産を平成21年から開始し、吉延営農組合員の中でも、約10戸、10haで生産している。「土佐天空の郷」については、コンテストで最優秀賞を受賞するなど成果を上げる一方で、イノシシの水稲被害が増加。これを受け、吉延集落では国の交付金や中山間直払の交付金を活用し、平成25年度に直営施行で3.5kmの防護柵を設置した。吉延営農組合が中心となり、男性だけでなく女性も設置作業に加わり、集落一体となって鳥獣被害の防止に取り組んだ。

②生活改善の取組状況

地域資源である棚田を活かした田んぼアートやコンサート、棚田散策ツアーの実施などブランド米の販売促進や高知市内の消費者との田植え体験交流など交流人口の拡大に取り組んでいる。

棚田を見渡せる展望台と駐車場の整備による地域資源の磨き上げや加工品開発による地域の女性の活躍の場の創出に取り組んでいる。また、地域の伝統行事も当組織が中心を担うなど、農地の保全活動にとどまらず地域活性化を目指した発展的な活動にも広がりを見せている。